



あたまにつまった石ころが

キャロル・オーティス・ハースト/文  
ジェイムズ・スティーブソン/絵  
千葉茂樹/訳 光村教育図書

**えほんあ**

父は、子どものころからずっと、石を集め続けていました。まわりの人に、「ポケットにもあたまのなかにも石ころがつまってるのさ」と、あきれられていた、そんな父の話聞いてください。

マヤの一生

むくはとじゅう よしいただし  
椋鳩十/作 吉井忠/絵  
だいにっほんとしよ 大日本図書

**日本文学 913 ム**

マヤはりこうな犬でした。家族の一員で、三兄弟といっしょに育ちました。でも、戦争がはじまり食糧が不足すると、国のきまりで、町じゅうの犬が連れていかれはじめたのです。マヤを守りたい！でも……。

かみかく  
神隠しの教室

やまもとえつこ まるやま  
山本悦子/作 丸山ゆき/絵  
かいせいしゃ 偕成社

**日本文学 913 ヤ**

授業時間中、学年のちがう5人の子どもが、とつぜん異次元にある「もうひとつの学校」に来てしまった。5人以外は、先生も生徒もだれもいない学校だ。なぜ、この5人が？もとの世界にもどるには？

走れ！マスワラ

グザヴィエ＝ローラン・プティ/作  
はまべきえい けんきゅうじよ  
浜辺貴絵/訳 PHP研究所

**フランス文学 953 プテ**

シサンダは、心臓病のため、いつも発作で苦しんでいる。母さんのマスワラは、得意のマラソンでレースに出場し、その賞金を手術代にと考える。ところが、練習中、マスワラが行方不明に!?

アーマのうそ

キャロル・ライリー・ブリンク/作 谷口由美子/訳  
ほりかわりまこ ぶんげいどう  
堀川理万子/絵 文溪堂

**アメリカ文学 933 ブリ**

パパの仕事のために転校してきたアーマは、同級生にうっかりうそをついてしまう。「あたし、世界一大きな人形を持ってる」。アーマのうそはどんどん広がり、学校の収穫祭で、人形を展示することになってしまう。

春のウサギ

ケヴィン・ヘンクス/作  
はらだまさる おおさわあきこ しょうがくかん  
原田勝+大澤聡子/訳 小学館

**アメリカ文学 933 ヘン**

春休み、12歳のアミーリアは、大好きな陶芸工房に来ていた男子と仲良くなります。ある日二人は、アミーリアのお母さんそっくりの人を見かけます。お母さんはもう死んでいるはずなのに……。

さよなら エルマおばあさん

おおつかあつこ しょうがくかん  
大塚敦子/写真・文 小学館

**ちしえほん TEピク 49**

「私の命は、あと1年くらいだろうから、いろいろ準備をはじめないとね」。ガン告知を受けたおばあさんは、家族の介護を受けながら、一日一日、大切にすごします。胸がじんとする写真絵本。

エジプトのミイラ

アリキ/文と絵  
かんどりのぶお さくらはじめ かんしゅう  
神鳥統夫/訳 /佐倉朔/監修 あすなる書房

**歴史 242 ブ**

古代エジプト人は、人が死んでも魂は生き続けると考えていました。そこで魂が帰ってこられるように、死んだ人の体をミイラにしたのです。この本を読むと、ミイラの作り方やピラミッドの中のようなすもわかります。

